

平成 30 年度 清原中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

児童の心身の発達にふさわしい教育を推進し、豊かな思考力・判断力・表現力を培い、心の教育を重視しながら、強靱な気力・体力と思いやりのある心や自主的な精神に満ちた実践力を身につけ、自らの向上とよりよい社会の発展に貢献しようとする、心豊かでたくましく生きようとする人間を育成する。

◇ 具体目標（めざす児童像）◇

- 1 自ら学び工夫する子ども （考える）
- 2 元気でがんばる子ども （鍛える）
- 3 礼儀正しく思いやりのある子ども （思いやる）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ 「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」

心豊かでたくましい子どもの育成には、子どもが生き生きと楽しく学習や活動に取り組む、明るく活気ある学校づくりが重要である。そのために「子どもが楽しく学び、居がいをを感じる学校」「教職員が特性を生かして、指導力を発揮する学校」「保護者・地域から信頼される、魅力ある学校」を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

全職員が学校教育目標の共通理解に努め、調和の取れた教育活動を展開し、合言葉や具体目標の重点化を通して、教育目標の具現化に努める。

(1) 「児童が学校の主体である」ことを基底にするとともに、一人一人が清原中央小学校の職員であることの誇りを持ち、常に向上心をもって意欲的に勤務し、互いが切磋琢磨しながら公務員及び教師としての資質や指導力の向上に努める。また、働き方改革の理念を踏まえた取組も推進する。

○(2) 職員一人一人が率先垂範の精神で児童の教育にあたり、その姿勢を通して児童に学ぶ意欲や思いやりの心を育てる。

(3) 一人一人の児童に確かな学力をつけ、個性を生かした教育と生きる力の育成に努める。

(4) 職員一人一人が組織の一員としての自覚を持ち、一致協力してより良い児童を育てる。

(5) 保護者や地域社会、各種団体との連携を密にし、地域の教育力を生かし、地域に開かれた信頼される学校にする。

(6) 地域学校園として共通理解のもと、各小中学校と連携しながら、小中一貫教育を推進する。

〔清原地域学校園教育ビジョン〕

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成
～キャリア教育を核として～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・基礎的・基本的事項の指導の充実と教職員の資質・指導力の向上
- ・勤務時間を意識した働き方の推進及び校内の業務の適正化

【学 習 指 導】

- ・自分の考えをもち、豊かに表現する児童の育成 ～「読むこと」の国語の授業を通して～

【児 童 生 徒 指 導】

- 思いやりの心を持ち、積極的に友達に関わり合える児童の育成（思いやり・親切）

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・自らの健康・体力の向上に関心を持ち、生涯に渡って体力づくりをしようとする児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は、今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答90%以上	① 「<u>夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小</u>」の合言葉の浸透を図り、<u>活気のある学校づくり</u>を進める。 ② 農園活動・共遊・児童会集会活動縦割り班活動等を工夫、改善しながら、児童が生き生きと活動する教育活動を展開する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答90%以上	① 全職員共通理解のもと、保護者や地域、清原地域学校園と連携協力しながら、あいさつ指導など基本的な生活習慣を身に付けるための取組を進める。 ○②学習内容定着度調査等の結果を踏まえ、学校課題研修や一人一授業の実践を通して指導内容や指導方法の工夫改善を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 「清原っ子の約束」等、学習のきまりをもとに学校や家庭での学習の仕方の指導を徹底するとともに、よくできたことについては積極的に賞賛し、児童の意欲を喚起する。 ② 週の生活目標を設定し、児童の実態や時期に応じた基本的な生活習慣（重点目標）の徹底を図るとともに、学年便り等に月目標を載せ、保護者の協力を得る。また、生活目標が形骸化しないよう、朝の打合せや校内放送を利用して、より意識化できるよう努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答90%以上	○①校内で授業の進め方、板書の仕方等の共通理解と共通実践に基づき、日々の授業の充実を図るとともに朝の「学習タイム」を活用し、課題の質・量・手立て等を工夫しながら、基礎学力を確実に定着させる。 ○②少人数指導や特別支援教育担当と共通理解を深め、個に応じた指導の充実がより一層図れるよう、児童に係る教職員間の情報交換を密にしながら学習指導を進めていく。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① いじめ等対策委員会を設置し、組織的に対応する。 ② いじめゼロ強調月間を効果的に活用するとともに、いじめの実態把握、早期発見・対応のため、生活アンケートや定期教育相談を年2回実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。 【数値指標】 全体アンケート「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 清原地域学校園内で共通理解を図り、土曜日や夏季休業日の授業実施、及び時間割の工夫で、授業時数を確保する。 ② 児童数の増加に伴い活動に制限があるが、可能な限り学校行事、各教科、総合的な学習の時間、道徳等に体験的な活動を取り入れ、計画的に実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 学校・家庭・地域が連携協力して取組が進められるよう、各種便り等を通して情報の提供を継続して進めていく。 ② 学校HPを定期的に更新し、学校の情報を積極的に公開・発信する。 ③ 学校自由参観日の実施や、学校施設（体育館）の地域団体等への積極的開放など、地域に開かれた学校づくりを進める。	【達成状況】 【次年度の方針】
○A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	○①地域協議会を中心に、学校・家庭・地域が一体となって、児童の安全確保や健全育成の取組をさらに強化する。 ○②地域連携教員と地域コーディネーターの連携のもと、保護者・地域・企業等と連携・協力して、授業や学校行事における学校支援ボランティアの活用を進め、教育活動の充実を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 施設を有効に活用し、教材教具の充実、適切な表示や管理に努めながら、学習意欲を高める環境を整える。 ② 清掃強化週間の実施や清掃用具の充実等、清掃指導を強化しながら、学習にふさわしい快適な環境づくりを進める。 ③ より一層本に親しみやすい図書室をめざし、継続して環境整備に努める。また、地域の歴史を素材とした資料の整備等、潤いのある環境づくりに取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】
B 5 教職員は、児童の悩みや保護者の相談をよく聴き、対応している。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、児童の悩みや保護者の相談をよく聴き、対応している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① いじめ調査を定期的を実施するとともに、年間2回の教育相談を行いいじめの防止・解消に努める。 ② 学校便り、学年便り等で学校・学年の実態や取組を積極的に発信し、保護者の理解・協力を得るとともに保護者からの相談に対しては関係者が連携して真摯に対応する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した取組を行っている」⇒教職員と保護者の肯定的回答 80%以上	① 中学生と一緒に年3回あいさつ運動を実施し、中学校と連携した児童生徒指導の取組を行う。 ② 小中乗り入れ授業を定期的を実施し、情報交換を密に行うことで、6年児童の中学校進学をスムーズに行う。 ③ 学校園教育ビジョンの中核であるキャリア教育の積極的な推進を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 全体アンケート「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 教員と学校スタッフが学習指導や児童指導に関する情報を共有しながら、教育の質の向上を目指す。 ② 「働き方改革プロジェクトチーム」を組織し、業務の軽減を目指した具体的な計画を立て、勤務時間の短縮を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況		A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。 【数値指標】 全体アンケート「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」⇒教職員の肯定的回答80%以上	① かがやきルーム指導員、図書館司書、日本語ボランティア、SC、ALT等の学校スタッフが積極的に情報交換を行い、教育活動が効率的に機能するよう取り組む。 ② 学力の向上を目指して、授業前の打合せや、授業後の振り返りを密に取りながら円滑なコミュニケーションを図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
		B1 児童は、登下校中や学校の中で、安全に気をつけて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、登下校中や学校の中で、安全に気をつけて生活している」⇒教職員の肯定的回答80%以上	① 避難訓練や交通安全教室など、交通や災害に対する安全教育を強化するとともに、日常の生活の中の危険について学年に応じて丁寧に指導する。 ② 全職員の共通理解のもと、登校班長会議や登下校指導、休み時間の生活指導を行い、事故を防ぐとともに、自ら安全に生活しようとする習慣を児童に十分身につけさせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	生	A13 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒教職員の肯定的回答80%以上	① 常時指導を強化するとともに、児童主体の「あいさつ運動強化週間」を実施する。また、清原地域学校園、地域協議会、PTAと連携・協力してあいさつ運動を展開する。 ② 教職員が率先してあいさつし、児童の手本となる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	活	A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場合に応じた言葉づかいをしている」⇒教職員の肯定的回答80%以上	① 学級活動・会話科・朝の会等で、場に応じた気持ちの良い言葉づかいについて、学年・学級の実態に応じた指導を行う。 ② 授業中など改まった場や目上の人に対する正しい言葉づかいについて具体的に指導するとともに、日常の場面においても人を傷つける言葉や言い方を絶対にしないという指導を徹底する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	○B6 児童は、食後丁寧に歯磨きをしている。 【数値指標】 全体アンケート「自分は、食後ていねいに歯磨きをしている」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 年2回「キラキラウィーク」を実施し、児童の歯磨きに関する実態の把握と啓発を図る。 ② 歯科検診や保健便り等を活用し、歯磨きの啓発を図るとともに、治療が必要な児童へ受診を働きかける。 ③ 養護教諭が各クラスの歯磨きの様子を観察し、児童の実態を把握し、歯磨きの仕方について指導をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	○A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答85%以上	○①教科体育を中心として運動の楽しさや喜びを味わわせる授業を工夫し、児童が目標をもって体力向上に取り組めるよう指導する。 ○②体力チェック表（清原地域学校園）の活用や、元気っこチャレンジ（新体力テスト）に進んで取り組める場を設定し、休み時間の運動を推奨する。 ○③生活目標に取り上げたり教師とともに遊ぶ共遊を実施したりして、児童が休み時間に外遊びをしようとする意欲を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
健康・体力	○A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒教職員の肯定的回答90%以上	① 朝食をとらない児童・偏食の多い児童に対して、保健や家庭科等と関連付けて個別指導を行う。 ○②給食便り・保健便り等を活用したり、懇談会等で朝食の大切さや偏食を話題にしたりして、保護者への啓発を図る。また、啓発と再認識のために、年2回「朝食を食べよう週間」を設定する。 ③ 養護教諭や学校栄養士が各クラスと一緒に給食を摂り、児童の実態把握を行うとともに食に関する指導の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 児童は家庭学習の習慣が身についている。 【数値指標】 全体アンケート「自分の子どもは、家庭学習の習慣が身についている」⇒保護者の肯定的回答70%以上	① 「清原っ子の約束」を配布したり学年だよりを活用したりして、<u>家庭学習の重要性について保護者への啓発を図り、指導の効果を高める。</u> ② 学級活動で家庭学習の仕方を指導し、目安となる時間や内容を提示したり実践している児童を賞賛したりして、児童が家庭学習に取り組もうとする意欲を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】

学 習 等	○A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」⇒教職員の肯定的回答85%以上	○①授業のねらいを明確にして児童に示すとともに、考える時間を確保したり授業形態を工夫したりして、児童が積極的に授業に取り組めるよう支援する。 ○②複数の教職員が児童一人一人の頑張りやよさを積極的に褒めたり認めたりすることで、児童が自信を深め、意欲的に学習に取り組めるように支援する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 全職員の共通理解のもと、話の聞き方や発表の仕方、ノートの活用法等、学習訓練の充実に努める。特に、聞き方の指導を工夫し、普段の授業から児童の意識を高めていく。 ② 学校生活全体において、時間を守った落ち着いた行動がとれるよう、指導を強化していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。」⇒児童、教職員の肯定的回答80%以上	① 地域協議会や保護者のボランティアと連携しながら児童を育成する環境づくりを推進する。 ② 学校だよりや学年だより等で地域のボランティア活動の様子を紹介し、児童や保護者に情報を発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B2 児童は進んで読書をしている。 【数値指標】 全体アンケート「自分は、進んで読書している」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 朝の読書タイムには、5分前に読書の準備を完了し、児童が落ち着いて読書に取り組める環境づくりを進める。 ② 学校図書館司書と連携し、各教科の調べ学習において、学校図書館の積極的な活用を図る。 ③ 読んだ本についての記録を累積し読書意欲の向上を図る。また、懇談会や図書館だより等を通して保護者への啓発を強化するとともに、家庭読書の記録を複数回行い、家庭読書の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

	○Ｂ４ 児童は、友達や下級生に思いやりがある。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、友達や下級生に思いやりがある」⇒児童の肯定的回答８５％以上	○①清掃活動や学校行事などに縦割り班活動を積極的に取り入れ、上級生が下級生の面倒をみる場を設定する。 ○②道徳の時間を中心に、思いやりのある豊かな心の育成を図り、成果を全教育活動に広げていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
--	---	--	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。